

環境コミュニケーション

メディアを通じた社会との連携

JR東日本における環境と社会に対する取り組みを正確かつ分かりやすく伝える「環境報告書(2002年から「社会環境報告書」)」を1996年から毎年発行しています。またインターネットや列車内のポスターなどのメディアを通じての情報発信も行っています。

「J・ADビジョン」(旧称:デジタルポスター)の展開

東京、品川、横浜、大宮、仙台などの主要駅に大型液晶画面を用いた広告媒体「J・ADビジョン」を設置しました。動画を中心に時間や曜日別にさまざまな放映が可能です。紙ポスターは掲出終了後、廃棄物として処理されますが、「J・ADビジョン」は放映終了後も廃棄物を出しません。今後もさらに主要駅に設置していきます。



品川駅のJ・ADビジョン



巣鴨駅のJ・ADビジョン

エコツーリズム

観光を通じて、日本の自然や文化への愛着を深めていく「エコツーリズム」。首都圏で開催した、世界遺産の白神山地の魅力をお伝えする「ブナの学校出前講座」では400名以上の、現地で開催している「ブナの学校」では、75名の参加がありました。また、各地の駅を拠点にした「駅からハイキング」も継続して実施し、2009年度は536回実施、約20万名の方にご参加いただきました。その中で、富士山や海岸ゴミ拾いなどを行程中に盛り込んだ「エコからハイキング」も初めて設定し、約700名の参加がありました。



ブナ林の中に真っ青な水を湛える青池



二ツ森での植樹体験



ブナの自然林での体験